



## 禁煙外来のお知らせ



- 当院の禁煙外来では、健康保険を適用した治療が可能です。  
禁煙補助薬（バレニクリン）の処方に加え、医師や看護師が適切な指導とアドバイスをを行い、あなたの禁煙を全力でサポートいたします。

### 対象者

以下の項目すべてに当てはまる方のみ、当施設で禁煙外来をお受けいただくことができます。

- 当施設にて**人間ドック**を受けられた方
- バレニクリン（チャンピックス®）のみでの治療を了承いただける方
  - ※ ただし、下記**7つの項目に1つでも当てはまる方はバレニクリン（チャンピックス®）の治療をすることは当院ではできません**
    1. 車の運転・高所作業を行う方（内服中に突然の意識障害や眠気が生じる可能性があります）
    2. 妊婦、授乳中（胎児への影響、母乳移行があります）
    3. 精神疾患、うつ症状のある方（睡眠導入剤使用中の方も含む）
      - ※ 受診後上記疾患が疑われる場合は、禁煙外来が出来ない場合があります
    4. シメチジン錠（胃薬）の内服が必要な方
    5. 未治療の高血圧症、心疾患がある方

6. 抗凝固薬、気管支喘息薬、糖尿病薬を服用中の方

7. 腎疾患をお持ちの方

## ●健康保険適用で受診いただける方

※保険適用チェックリストの**4つの項目すべてに当てはまる方**が健康保険適用対象です。

1. ニコチン依存症診断テスト（TDS）で5点以上

2. 35歳以上の方：1日の喫煙本数×喫煙年数（ブリンクマン指数）が200以上

※35歳未満の方は、本数にかかわらず対象となる場合があります。

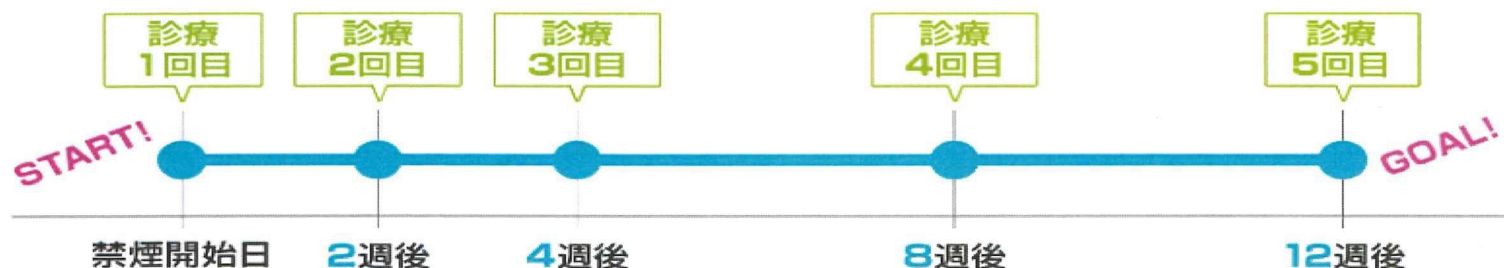
3. 直ちに禁煙を始めたいという意志がある

4. 禁煙治療を受けることに文書で同意できる

## 治療のスケジュール

### ●12週間（3か月）で通院5回のプログラム

禁煙治療は、12週間にわたり計5回の診察を受けるプログラムです。初回の診察で禁煙開始日を設定し、段階的にバレニクリン（チャンピックス®）の服用量を増やしていきます。



## 1. 初回（スタート）

初めに喫煙状況等の把握、息に含まれる一酸化炭素（タバコに含まれる有害物質）の濃度の測定、保険診療の適用要件を確認し、医師と一緒に治療方針を決めます。

禁煙開始日の設定、医師・看護師による禁煙アドバイスと問題点の把握、禁煙治療薬の説明、処方、次回以降の診察日確認を行います。

## 2. 2回目（2週間後）・3回目（4週間後）・4回目（8週間後）

禁煙に伴う離脱症状や副作用の出やすい時期であり、禁煙補助薬の処方を受けるほか、息に含まれる一酸化炭素（タバコに含まれる有害物質）の濃度の測定、禁煙状況に応じて医師・看護師がアドバイスをを行います。

## 3. 5回目 12週間後（ゴール）

禁煙状況や離脱状態の確認、息に含まれる一酸化炭素（タバコに含まれる有害物質）の濃度の測定、禁煙継続のアドバイスをを行います。この時点で問題がなく禁煙できていれば終了となりますが、再喫煙しないように注意が必要です。



**ご 注 意 く だ さ い !!**

健康保険で禁煙治療を継続できるのは、初診から12週間までです。

診療の間隔が空きすぎると保険適用外（自費診療）となる場合がありますので、スケジュールに沿った通院をお願いいたします。

## 費用について

### ●3割負担の場合

12週間の治療費（計5回の診察＋お薬（院外処方））の合計金額の目安  
約20,000円 前後

- ※ 処方されるお薬の種類や、最新の算定状況によって多少前後します
- ※ 以前、保険診療で禁煙外来を受診された方は、前回の初回診察日から1年以上経過している必要があります。

## ●ニコチン依存症診断テスト（TDS）

禁煙外来を保険適用で受診できる対象患者は、TDS（Tobacco Dependence Screener：0～10点）で5点以上となり、「ニコチン依存症」と判定される必要があります。

設問内容	はい 1点	いいえ 0点
問1. 自分が吸うつもりでいた本数よりも多くなったことがある。		
問2. 禁煙や本数を減らそうとしたができなかったことがある。		
問3. 禁煙したり本数を減らした際に、タバコをどうしても吸いたくなる時があった。		
問4. 禁煙や禁煙本数を減らしたりした際に、次のどれかの症状があった。 イライラ、神経質、落ち着かない、集中できない、憂鬱、頭痛、眠気 胃のむかつき、脈が遅い、手のふるえ、食欲または体重の増加		
問5. 上記の内容を解消するために、喫煙したことがある。		
問6. 重い病気をした時にいけないと分かっているながら吸ったことがある。		
問7. タバコを吸うことで健康問題が起きている事が分かっているにもかかわらず吸ったことがある。		
問8. タバコを吸うことで精神的問題が起きている事が分かっているにもかかわらず吸ったことがある。		
問9. 自分がタバコに依存していると感じたことがある。		
問10. タバコが吸えないような仕事の付き合いを避けたことがある。		
（上記TDSテストの結果が5点以上でニコチン依存症と診断されます）	合計	点